

「北茨城・九条の会」の発会に先立って市長を訪問

「北茨城・九条の会」準備会では、2月16日の正式発会に先立ち、藤田稜威雄さん、西村洋子さんなど3人が13日(水)の午後、北茨城市役所に豊田稔市長を訪問しました。3人は「会」設立の趣旨を説明するとともに、平和の問題で市民と行政が協力共同することについて30分あまり、なごやかに意見を交わしました。

「海外派兵には反対であり、戦争はしてはならない」と豊田市長

懇談で藤田さんは、企業で働いていた頃は政治家に任せておけばよいと思っていたが、自衛隊のイラク派兵など平和が脅かされている上、「改憲」などの最近の動きを見ると、そう言うわけにはいかないとと思うようになったことを述べた上で、「九条の会」は思想・信条、宗教、政治的立場の違いを超えて、“平和憲法を守ろう”という一点で市民が手をつないだ団体であることを説明しました。



西村さんは、10年前に東京から五浦に転居してきたが、生まれ育った福井県が実は岡倉天心の両親の故郷であったことを知って、その縁の深さに驚いたと述べるとともに、小学校3年のとき、米軍の空襲によって一家が焼け出された体験から、絶対に戦争を繰り返してはならないと、「会」設立に参加した動機を話しました。

豊田市長は、北茨城市は“核兵器廃絶・平和都市宣言”のまちであること、憲法をどう考えるかについてはもっと勉強しなければならないと思っているが、先の戦争では北茨城でも多くの人々が亡くなっており、毎年8月にはこうした人達の慰霊をしたい、海外派兵には反対であり、戦争はしてはならないと思うと述べました。

発会の記念誌ができました

「明日に伝えたいこと いま、できること」

準備会はこれまで、“戦争とは何なのか”悲惨で残酷なその実相を知るところから始めようと、戦争体験を聞き書きし、準備会ニュースに掲載してきました。

これらに、さらに書き下ろし体験談や風船爆弾の研究などを加え、「9人」の文集としてまとめました。『明日に伝えたいこと いま、できること』と名付けた記念誌です。2月16日(土)

No.7

08.02.15



発行：北茨城・九条の会(準備会)

連絡先：46-5611(藤田)
42-2462(鈴木)

<http://go.gob.jp/go/9>

北茨城・九条の会 ニュース

「北茨城・九条の会」に賛同いただいた皆さんお届けします。お知り合いにも広げて下さい。話題やご意見お待ちしております。



の「発会のつどい」から配布を始めます。繰り返してはならない戦争の体験を知る、身近な人々の貴重な記録です。頒価200円。ぜひ広く普及してください。